

製品名: LRP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13426**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	LRP1
別名	LRP1; A2MR; APR; Prolow-density lipoprotein receptor-related protein 1; LRP-1; Alpha-2-macroglobulin receptor; A2MR; Apolipoprotein E receptor; APOER; CD antigen CD91
遺伝子 ID	4035.0
SwissProt ID	Q07954
免疫原	抗血清はヒト CD91 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 4486-4535

背景

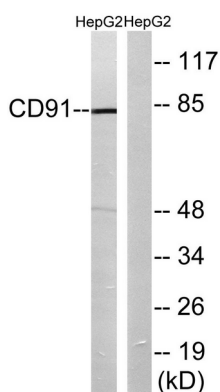
この遺伝子は、低密度リポタンパク質受容体ファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているプレプロタンパ

ク質は、フーリンによってタンパク質分解され、成熟受容体 (PMID: 8546712) を形成する 515 kDa および 85 kDa のサブユニットを生成します。この受容体は、細胞内シグナル伝達、脂質恒常性、アポトーシス細胞の除去など、いくつかの細胞プロセスに関与しています。さらに、コードされているタンパク質は、分泌型アミロイド前駆体タンパク質およびアルツハイマー病患者にみられるアミロイドプラークの主成分である β アミロイドの、 $\alpha 2$ マクログロブリンを介した除去に不可欠です。この遺伝子の発現は加齢とともに低下し、アルツハイマー病患者の脳組織では対照群よりも低いことが分かっています。 [RefSeq 提供、2015 年 10 月]、機能: アポトーシス細胞のエンドサイトーシスおよび貪食に関与するエンドサイトーシス受容体。初期胚発生に必要。細胞脂質の恒常性維持に関与。カイロミクロンレムナントおよび活性化 LRPAP1 ($\alpha 2$ -マクログロブリン) の血漿クリアランス、ならびにプラスミノーゲン活性化因子とその内因性阻害因子との複合体の局所代謝に関与。APP 代謝、キナーゼ依存性細胞内シグナル伝達、神経カルシウムシグナル伝達、神経伝達などの細胞イベントを調節する可能性がある。、PTM: 85 kDa の膜貫通サブユニット (LRP-85) と、非共有結合したままの 515 kDa の大きな細胞外ドメイン (LRP-515) に切断される。LRP-85 は γ -セクレターゼ依存性に切断され、細胞内ドメインを膜から遊離させる。、PTM: セリンおよびスレオニン残基がリン酸化される。、PTM: PDGF 刺激によりチロシン残基がリン酸化される。チロシンリン酸化は SHC1 との相互作用を促進する。、PTM:N 末端はブロックされている。、類似性:LDLR ファミリーに属する。、類似性:22 個の EGF 様ドメインを含む。、類似性:31 個の LDL 受容体クラス A ドメインを含む。、類似性:34 個の LDL 受容体クラス B リピートを含む。、細胞内局在:切断後、細胞内ドメイン (LRPICD) は細胞質と核の両方に検出される。、サブユニット:85kDa の膜結合カルボキシルサブユニットと非共有結合した 515kDa のアミノ末端サブユニットからなるヘテロ二量体。細胞内ドメインは MAFB と相互作用する (類似性による)。PID1/PCL11、LRP1、および CUBNI との複合体中に見られる。SNX17、PID1/PCL11、PDGF、CUBN と相互作用する。細胞内ドメインは SHC1、GULP1、DAB1 と相互作用する。LRPAP1 と相互作用する。、組織特異性: 肝臓、脳、肺に最も多く存在する。、

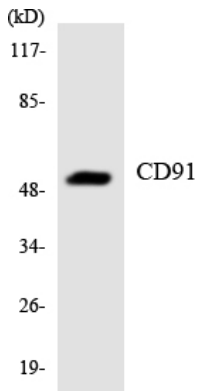
研究分野

アルツハイマー病;

画像データ



CD91 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CD91 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウエスタンブロット分析。